

様式第2号の1－②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1－①を用いること。

学校名	水戸経理専門学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	診療情報管理学科	夜・通信	240	240	
	医療秘書学科	夜・通信	180	160	
	オフィスビジネス学科	夜・通信	174	160	
	ホテル・ブライダル学科	夜・通信	192	160	
(備考) 令和7年4月1日新学則施行のため、1学年は新学則、2・3学年は旧学則による。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ(<https://www.mito.ac.jp/>)で公開する

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	水戸経理専門学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ(https://www.mito.ac.jp/)で公開する
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	旅行会社 相談役	令和6.4.1～ 令和9.3.31	企画
非常勤	一般企業 課長	令6.11.1～ 令和9.3.31	コンプライアンス
非常勤	一般企業 取締役	令和7.4.1～ 令和10.3.31	労務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	水戸経理専門学校
設置者名	学校法人 八文字学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) *シラバスの作成過程及び時期 1月 教育課程(案)の内容を検討 3月 教育課程編成委員会会議において審議 3月末 授業計画(シラバスの決定) *シラバスの公開時期 毎年4月	
授業計画書の公表方法	ホームページ(https://www.mito.ac.jp/)で公開する
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学則第12条の規定に基づき、授業計画(シラバス)に成績評価の方法・基準を示したうえで、成績評価のための試験を実施し、実習成果、履修状況を総合的に勘案して行い、学修成果を判定している。 ただし、出席字数が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目についての評価を受けることができない。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各学科において履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出(100点満点で点数化)し、成績の分布等を適切に示している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ(https://www.mito.ac.jp/)で公開する
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取り組みの概要)

本校は、時代の要請に応え、ビジネス社会に対応し得る専門的な職業教育を行い、併せて社会人として活躍できる教養を身に付けた人材の育成を目的とする。

進級要件

1年次の全科目を履修し、学科毎に定める進級単位数を習得する。

2年次の全科目を履修し、学科毎に定める進級単位数を習得する。

3年次の全科目を履修し、学科毎に定める進級単位数を習得する。

卒業要件

2年間で必要とされるすべての科目を履修し、卒業要件の63単位(1800時間)を修得する。

3年間で必要とされるすべての科目を履修し、卒業要件の98単位(2700時間)を修得する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ(<https://www.mito.ac.jp/>)で公開する

様式第2号の4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4－①を用いること。

学校名	水戸経理専門学校
設置者名	学校法人 八文字学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.mito.ac.jp/
収支計算書又は損益計算書	https://www.mito.ac.jp/
財産目録	管理部に備え付け・閲覧又は配布
事業報告書	管理部に備え付け・閲覧又は配布
監事による監査報告（書）	管理部に備え付け・閲覧又は配布

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	診療情報管理学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2, 700 単位時間／単位	1,245 単位時間 ／単位	964 単位時間 ／単位	491 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		17人	0人	1人	2人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 日本病院会の指定校として、診療情報管理士受験資格取得のための医学・専門領域を中心に、講義・演習・実習を実施している。 年間の授業計画は、日本病院会に届け出ている。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学年末試験、実習の成果、成果物の提出等、履修状況を総合的に勘案して行う。 なお、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、補講の対象となり、定期試験で各教科の試験の点数が合格点に満たない者、また欠席した者には追試験を課すこととしている。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 2年次進級要件 1年次32単位(900時間)修得 3年次進級要件 2年次40単位(900時間)修得 卒業要件 98単位(2700時間)修得	
学修支援等	
（概要） 担任との面談、三者面談、家庭訪問の実施。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0%)	5人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 水戸赤十字病院、茨城県病院局職員、聖麗メモリアル病院、大洗海岸病院			
(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート作成のアドバイス、面接指導、筆記試験講座、企業訪問マナー、卒業生の講話等に加え、インターンシップの導入による現場実習を取り入れている。			

(主な学修成果（資格・検定等）) 診療情報管理士認定試験 診療報酬請求事務能力認定試験 医師事務作業補助者検定試験 電子カルテ実技検定試験 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	医療秘書学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			1488 単位時間 /単位	72 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
2年	昼	1, 800 単位時間／単位	単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		47人	0人	4人	0人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 医療機関・調剤薬局・介護施設・歯科医院の保険請求業務ができる人材を養成する。 1年次に医療機関、2年次に調剤薬局・介護施設・歯科医院を学ぶ。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学年末試験、実習の成果、成果物の提出等、履修状況を総合的に勘案して行う。 なお、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は補講の対象となり、定期試験で各教科の試験点数が合格点に満たない者、また欠席した者には追試験を課すこととしている。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 2年次進級要件 32単位(900時間)修得 卒業要件 63単位(1800時間)修得	
学修支援等	
（概要） 担任との面談・三者面談・家庭訪問等の実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	25人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 医療機関（病院・診療所）・調剤薬局・介護施設等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート作成のアドバイス、面接対策、筆記試験講座、企業訪問マナー、卒業生の講座等に加えインターンシップの導入による現場実習を取り入れている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 診療報酬請求事務能力認定試験 医師事務作業補助者検定試験			

電子カルテ技能検定試験 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43 人	1 人	2.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生との個別面談及び父母等との三者面談の実施		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	オフィスビジネス学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 8 0 0 単位時間／単位	732 単位時間 /単位	312 単位時間 /単位	756 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数
8 0 人		3 8 人	0 人	4 人	0 人		4 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 経理事務・会計等に欠かすことのできない簿記を中心に学び、税理士科目取得を目指し、税法・コンピュータ会計などの基礎的な学習から応用まで学習を進めていき、知識の習得や高度資格取得を目指す。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学年末試験、実習の成果、成果物の提出等、履修状況を総合的に勘案して行う。 なお、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は補講の対象となり、定期試験で各教科の試験点数が合格点に満たない者、また欠席した者には追試験を課すこととしている。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 2年次進級要件 32単位(900時間)修得 卒業要件 63単位(1800時間)修得	
学修支援等	
（概要） 個別面談・指導等の対応。 父母等と三者面談・家庭訪問等の実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21 人 (100%)	2 人 (9.5%)	18 人 (85.7%)	1 人 (4.8%)
(主な就職、業界等) 会計事務所・一般企業（一般事務・経理事務・総合職・製造職）・介護施設（経理事務）			
(就職指導内容) 履歴書・エントリーシート作成のアドバイス、面接対策、筆記試験講座、企業訪問マナー、卒業生の講座等に加えインターンシップの導入による現場実習を取り入れている。			

(主な学修成果（資格・検定等）) 税理士試験簿記論・財務諸表論 日商簿記検定 全経簿記能力検定 全経電卓能力検定 全経計算実務能力検定 全経コンピュータ会計能力検定 全経文書処理能力検定 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	ホテル・ブライダル学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1, 8 0 0 単位時間／単位	720 単位時間 ／単位	702 単位時間 ／単位	378 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数	兼任教員数	総教員数
8 0 人		4 2 人	0 人		2 人	1 人	3 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ホスピタリティ豊かな人間教育を基盤とし、ホテル・ブライダル業界に貢献できる人材の育成を目指す。 校内講義とインターンシップ等の現場実習を通して、マルチに活躍できる知識と技術を身に付ける。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 学年末試験、実習の成果、成果物の提出等、履修状況を総合的に勘案して行う。 なお、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は補講の対象となり、定期試験で各教科の試験点数が合格点に満たない者、また欠席した者には追試験を課すこととしている。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 2年次進級要件 32単位(900時間)修得 卒業要件 63単位(1800時間)修得	
学修支援等	
（概要） 担任との面談、父母等と三者面談の実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0%)	14人 (93.3%)	1人 (6.7%)
（主な就職、業界等） ブライダル業界・ホテル業界 等			
（就職指導内容） 履歴書・エントリーシート作成のアドバイス、面接対策、筆記試験講座、企業訪問マナー、卒業生の講座等に加えインターンシップの導入による現場実習を取り入れている。			

(主な学修成果（資格・検定等）) ブライダルコーディネート技能検定 WB J 認定ウェディングプランナー認定試験 WB J 認定ドレスコーディネーター認定試験 アシスタントウェディングプランナー検定 ホテルビジネス実務検定 おもてなし検定 等
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32 人	2 人	6.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更・体調不良による療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生との個別面談及び父母等を交えて三者面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
診療情報管理学科	150,000 円	630,000 円	581,000 円	
医療秘書学科	150,000 円	630,000 円	581,000 円	
オフィスビジネス学科	150,000 円	630,000 円	531,000 円	
ホテル・ブライダル学科	150,000 円	630,000 円	531,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.mito.ac.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校評価に関する県警法令等に基づき、学校関係者評価委員会を設置し、学校関係者評価の結果を踏まえ、学校関係者と連携・協力し、教育水準の向上・学校運営の改善・強化に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
大関税務会計事務所 公認会計士・税理士	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	企業等委員
篠原税理士事務所 所長	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	企業等委員
株式会社フジタビジネスマシズ 代表取締役	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	企業等委員
株式会社日東 代表取締役社長	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	企業等委員
サンライト旅行合同会社 相談役	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	企業等委員
カメラのタナカ 店主	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	企業等委員
社会保険労務士	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	地域住民
水戸商工会議所	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	卒業生
茨城ヨコハマタイヤ	令和5年11月1日～ 令和10年10月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.mito.ac.jp/		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

https://www.mito.ac.jp/

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H108320100069
学校名（〇〇大学 等）	水戸経理専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人八文字学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		24人（ 0）人	20人（ 0）人	24人（ 0）人
内訳	第Ⅰ区分	13人	13人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	0人	0人	
	区分外（多子世帯）	0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0）人
合計（年間）				24人（ 0）人
（備考）				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	0人
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。